

(2018年 茨城県公立入試 類似)

- 日露戦争において、日本の勝利を決定づける要因となった出来事として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

(2019年 千葉県公立入試 類似)

大分県公立入試 類似)

(2021年 茨城県公立入試 類似)

(2020年 長野県公立入試 類似)

(2017年 富山県公立入試 類似)

類似)

(2016年 長崎県公立入試 類似)

茨城県公立入試 類似)

(2025年 徳島県公立入試 類似)

1. 1875年の江華島事件をきっかけに翌年結ばれた条約について、第1条には「朝鮮国は自主の国」であると記され、第10条では日本の領事裁判権

(2024年 青森県公立入試 類似)

- 2 「明治十四年の政変」と呼ばれる出来事背景と結果についての説明として、最も適切なものはどれですか。(2017年 岩手県公立入試 類似)

(2023年 長崎県公立入試 類似)

答え合わせ・解説

問1	答え 2 民撰議院設立の建白書	征韓論に敗れて政府を去った板垣退助らが1874年に提出した文書です。一部の官僚が権力を独占する「有司専制」を批判し、国会の開設を強く求めたことで、自由民権運動の先駆けとなりました。
問2	答え 2 東郷平八郎が率いる連合艦隊が、日本海海戦においてロシアのバルチック艦隊を破った。	1905年、東郷平八郎が司令長官として指揮を執った日本海海戦での勝利は、世界最強といわれたロシアの第二太平洋艦隊（バルチック艦隊）を壊滅させたもので、日本の優位を決定づけました。これが後のポーツマス講和会議へとつながる重要な転換点となりました。陸奥宗光は日清戦争時の外務大臣であり、この時代背景とは異なります。
問3	答え 3 東アジアにおいて勢力を拡大していたロシアに対抗し、その進出を防ぐため	20世紀初頭、ロシアは満州（中国東北部）から朝鮮半島へと勢力を広げていました。これに対し、朝鮮半島への進出を目指す日本と、中国での利権を守りたいイギリスの利害が一致したことが、日英同盟締結の大きな背景です。この同盟により、日本はロシアとの戦争（日露戦争）を有利に進めるための国際的基盤を固めました。
問4	答え 1 文明開化の風潮の中で、西洋の技術や制度を導入して国力を高めようとしていた。	明治時代初期、政府は欧米諸国に対抗できる近代国家をつくるため、「富国強兵」や「殖産興業」を掲げました。鉄道の開業は、人力車や馬車に代わる新しい交通手段として、文明開化を象徴する出来事となりました。日清戦争や重化学工業の発展は明治時代中期以降の出来事であり、鉄道建設は政府が主導しました。
問5	答え 3 国民の権利は「法律の範囲内」でのみ認めると規定されており、法律によって権利の内容を制限することが可能だったから。	大日本帝国憲法下の権利は、法律によって制限できるという「法律の留保」と呼ばれる仕組みに基づいていました。これにより、たとえ憲法に自由の規定があっても、治安維持法のような法律を制定することで、政府に批判的な言論や活動を合法的に弾圧することが可能となりました。これは主権が国民ではなく天皇にあるという当時の国家体制（天皇主権）を反映したものでありました。
問6	答え 2 筑豊炭田の石炭や中国から輸入した鉄鉱石を利用しやすい福岡県に建設され、鉄鋼の国産化を進めた。	八幡製鉄所は、原料となる石炭を産出する筑豊炭田に近く、また鉄鉱石を輸入する中国（清）からの海上輸送に便利な地理的条件を備えていた福岡県に建設されました。これは、軍事や鉄道建設に不可欠な鉄鋼の自給自足を目指した国家プロジェクトでした。選択肢にある群馬県の工場は富岡製糸場であり、八幡製鉄所は日清戦争の賠償金をもとにした「官営」の工場としてスタートしています。
問7	答え 2 君主権が強いドイツ（プロイセン）の憲法	明治政府は天皇を中心とする強力な国家体制を築くため、皇帝の権限（君主権）が強いドイツ（プロイセン）の憲法を模範とした。一方で、自由民権運動の中では、中江兆民らがフランス流の民主的な思想を、大隈重信らがイギリス流の議院内閣制を主張していた。
問8	答え 2 板垣退助らが民撰議院設立の建白書を提出したことで自由民権運動が本格化し、その後、大隈重信らによる立憲改進黨の結成などを経て、大日本帝国憲法が公布された。	自由民権運動は1874年の「民撰議院設立の建白書」提出により開始されました。運動の波が広がる中、1880年代前半には自由党や「立憲改進黨」といった政党が誕生し、憲法制定や国会開設を求める動きが加速しました。政府はこれに対応しつつ、ドイツ（プロイセン）の憲法を参考に1889年に「大日本帝国憲法」を公布し、天皇主権の立憲体制を整えました。内閣制度の創設（1885年）や廃藩置県（1871年）は、それぞれ憲法公布の前段階や中央集権化の過程での出来事であり、運動の直接的な帰結ではありません。
問9	答え 4 イギリスとの間で結ばれていた日英同盟に基づく義務	日本は1902年にロシアの南下政策を警戒するイギリスとの間で日英同盟を締結していました。1914年に第一次世界大戦が始まると、日本はこの同盟を理由にイギリス側の連合国として参戦しました。この参戦を通じて、ドイツが中国の山東省や太平洋の島々に持っていた利権を獲得しようと動きました。
問10	答え 3 文明開化	明治時代初期に洋風の建築や馬車、洋装の人々が見られるようになったのは、明治維新による文明開化の影響です。西洋の制度や文化が取り入れられたことで、人々の生活様式が急速に洋風化しました。
問11	答え 2 日朝修好条規	江華島事件を口実に結ばれたこの条約は、日本が欧米から押し付けられたのと同様の手法を用いて朝鮮に結ばせた不平等条約です。選択肢にある「日清修好条規」は日本と清の間で結ばれた対等な条約であり、「下関条約」は日清戦争の講和条約であるため、時代や締結国が異なります。
問12	答え 3 国会の早期開設を主張する大隈重信が政府を去り、同時に政府が「国会開設の勅諭」を出して10年後の国会開設を約束した。	明治政府は、早期開設を求める大隈重信を追放する一方で、高まる民権運動を鎮めるために、10年後の1890年に国会を開設することを約束する「国会開設の勅諭」を出しました。これにより、政府外では国会開設に向けた政党結成の動きが加速し、大隈は立憲改進黨を、板垣は自由党を結成することになりました。
問13	答え 2 大規模な紡績工場の発展により、綿糸の輸出量が輸入量を上回った。	日清戦争前後、大阪紡績会社などの大規模な工場が設立され、蒸気機関を用いた機械による大量生産体制が整いました。この結果、安価で質の高い綿糸が生産されるようになり、国内需要を補うだけでなく、アジア諸国への輸出が拡大しました。なお、原料の綿花については海外からの輸入に依存するようになり、国内の綿花栽培は衰退しました。